

工業科（建築計画）学習指導案			
		令和7年9月8日(月) 第3限目 場所: 指導者:	
単元名	第5章 建築設備の計画		
単元の目標	建築の設備について、住空間の快適性や省エネルギーの視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、建築物の計画ができるようにする。		
単元の評価基準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
	建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などを理解している。	建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。	建築設備の目的や、設備計画、省エネルギーに関する制度や基準などに関心を持ち、これらの理解に意欲的に取り組んでいる。
本日の主題	第5章 建築設備の計画 1節 建築設備の概要	本時の位置	3/3
本時の目標	建築設備における省エネルギーの必要性と技術をまとめ、未来の省エネ設計の考え方を学ぶ。		
評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
	知① 建築設備が何のためにあるか、どう計画するかを理解している。 知② 省エネの法律やルールを知っていて、建物にどう関係するか説明できる。	思① 建築設備の役割や計画の考え方について、自分の考えを持ち、適切に判断し、わかりやすく説明できる。 思② 省エネルギーに関する技術や設計を理解し、それについて考え、判断し、自分の言葉で説明できる。	主① 建築設備の役割や計画に興味を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢がある。 主② 省エネルギーに関する技術や設計に関心を持ち、内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる。
本時は□を評価			
本時の展開			
段階	学習活動	時間(分)	◇指導上の留意点 ◆評価【観点】(評価方法)
導入	1. 本時の学習の目標とポイントの確認	5分	◇学習のねらいや調べるテーマを明確に伝える。
展開	2. 調べ学習 (1) Teams 内に共有してある各班のPowerPoint(以下、PPT)でスライドを作成する。(15分程度) (2) スライドが完成したら、各班内で共有し、発表の準備をする。(5分程度)	20分	◇3～4人の班で、生徒がより主体的に取り組めるよう、協力しやすい関係性を考慮する。(事前準備) ◇スライドの内容を相互評価してもらうことを伝える。 ◇情報収集の方法を指導する。 ◇コピー＆ペーストのみにならないよう指導する。 ◆省エネルギーに関する技術や設計に関心を持ち、内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる。【主②】(成果物) A: スライドに分かりやすく整理・表現されている。図や表、写真などを効果的に活用し、視覚的にも工夫されている。 B: スライドに必要な情報を整理してまとめている。構成もおおむね分かりやすい。 C: スライドの構成や表現に改善の余地がある。視覚的な工夫も少ない。
	3. 発表 (1) 各班の生徒が1人ずつ集まった発表用のグループに編成し直し、全員がグループ内で発表する。(1人1～2分程度)	15分	◇発表用のグループを編成しておく。(事前準備) ◇発表について、相互評価してもらうことを伝える。 ◇教員がタイムキーパーの役割をする。 ◆省エネルギーに関する技術や設計を理解し、それについて考え、判断し、自分の言葉で説明できる。【思②】(机間巡視と振り返りシート) A: 省エネルギーに関する技術や設計を深く理解し、それについて自分の考えを述べている。聞き手に分かりやすく伝える工夫(構成、話し方、資料の活用)がされている。 B: 省エネルギーに関する技術や設計を理解し、それについて自分の考えを述べている。発表はおおむね分かりやすく、資料や話し方にも一定の工夫が見られる。 C: 省エネルギーに関する技術や設計の理解が不十分で、自分の考えとの関連づけが弱い。発表の構成や表現に改善の余地があり、聞き手に伝わりにくい部分がある。
まとめ	4. 振り返り (1) Teams のチャンネル内にある振り返りシートを記入する。 (2) 振り返りシートからのフィードバック	5分	◇PPT を全員で確認し、学びを共有する。 ◇次回の学習への動機づけを行う。